

羅針盤

令和7年度 第10号 (通算376号)
令和8年3月16日 (月) 発行
岡山県総合教育センター 企画部
Tel (0866)56-9102

切れ目のない支援の引継ぎが「安心」を生む ～「児童生徒」も「教師」も安心して新年度がスタートできるように～

まとめの時期が近づいてきました。今年度行った指導・支援を整理し、次年度へ確実にタスキをつなぎましょう。

なぜ「引継ぎ」が大切なのか？

児童生徒たちは、進学や進級に対して、大きな期待と同時にそれ以上の「不安」を感じているかもしれません。引継ぎが確実に行われることは、児童生徒たちだけでなく、迎える側の教師の「安心」にもつながります。

たとえば…

自立応援室での支援の状況を引き継ぐことが支援の継続性につながる。

「長所や強み」も引き継ぐことが本人の可能性を引き出し、発揮させていく支援の手掛かりになる。

合理的配慮を継続しつつ、それまでの配慮の評価と新しい環境での見直しが可能となる。

蓄積された情報を引き継ぐことで、児童生徒の将来を見据えた支援を考えることができる。

引き継いだ情報から、新しい環境の中で生じるであろう困難さをイメージしやすくなります。そして、その対応についても具体的に話し合っておくことができるでしょう。

確実な引継ぎを行うためのポイント

✓ 指導・支援を振り返る

- ・「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」等を活用しましょう。
- ・複数の視点で多面的に評価・検討できるよう、チーム学校（担任、生徒指導担当、特別支援コーディネーター、別室指導員、通級担当など）で行いましょう。
- ・今後の課題を具体化し、次年度の指導・支援の方向性まで考えておくことで良いでしょう。

✓ 情報共有ツールの活用（※右記）

- ・蓄積された必要な情報を関係者（教職員、保護者、SC、SSWなど）で共有しましょう。
- ・その児童生徒の困難さに応じた指導・支援に生かす視点で、将来を見据えた支援について多面的な視点から協議しましょう。

情報共有ツール

- ・個別の教育支援計画
- ・個別の指導計画
- ・共通支援シート
- ・長期欠席・不登校児童生徒に関するアセスメントシート など



✓ 校内・校外との連携（「中学校等と高等学校間の情報連携の推進について（依頼）」教人生第427号、R7.1.16」）参照

- ・連絡会を設ける等、十分な情報交換ができるように工夫しましょう。
- ・連絡会等の所定の機会に限らず、様々な機会を活用して情報交換に努めましょう。
- ・学校間による引継ぎについては、組織的な対応が重要です。

こちらの資料についても、参考にしてください。

増補版もご覧ください。



生徒指導提要、
R4.12,文部科学省



第4次岡山県特別支援教育推進プラン、R5.3,岡山県教育委員会



岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード、H31.3,岡山県教育委員会